

CBC

2015.12

News

増刊号

みんなの神学校

中央聖書神学校
校長 北野耕一

主の貴い御名を崇めます。

「CBCフェスタ2015」が、去る11月3日（火）に開催されました。当日は天候にも恵まれ、全国から大勢の信徒の方々が来られ、幸いな「CBCフェスタ」になりました。

以前は、献身を表明した方々に限定した「献身者準備会」と銘打って開催していましたが、2011年度から「オーブンキャンパスデー」として献身表明者に限らず、神学教育に関心のある方々にも門戸を広げて参りました。2012年度からは火曜日から土曜日まで学校を開放し、神学生と寝食を共にして、授業の参観ができるようにしました。そして、2015年度からは、初めての試みとして文化祭的な要素を取り入れたこの「CBCフェスタ」になったという次第です。

献身者準備会からこのように方向転換をした理由のひとつは、中央聖書神学校が一部の限られた者の施設ではなく、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団に属する「みんなの神学校」だということに関心をもち、頂きたいという願いからです。校歌の「紫雲の漂える、駒込山の……」とある中央聖書神学校は、長年全国聖会や教区聖会の会場として親しまれていました。しかし、近年はそれも変わり、遠くなりつつある「駒込山」への篤い思いと、ここになされた数々の主のみ業を、皆様方と共に次の世代に繋いでいくことが、私たちの使命だと思っております。

今回の「CBCフェスタ」は、新たに信徒のどなたでも参加できるよう信徒聖書学校、ゴスペルワークシヨップ、聖会、趣向を凝らした模擬店、後援会、書籍販売と多彩なプログラムを実施することが出来ました。

当日は、151名の参加者があり、献身表明者とのオリエンテーションには関西教区、四国教区、関東北東・南西教区から12名が参加し、校長、学監、学生主任、通信科主任、本科神学生と懇談の時を持つことができました。

さらに聖会では、ゴスペルワークシヨップを受講された方々の発表の場も設けられ、聖霊に満たされた力強い賛美がなされました。めぐみの座には、献身を表明された方々が前に出られ、真剣に祈る姿は、聖会に出席した方々にも深い感動を与えたに違いありません。献身表明された方々が、いつの日かCBCに入学されることをお祈りしていきたく思います。

来年の「CBCフェスタ2016」は、11月23日（水）を予定しております。この日を覚えてお祈り下さると共に、さらに多くの方々がご参加下さることを願っています。

最後に、この計画に携わって下さった先生を初め信徒聖書学校の講師や模擬店に協力して下さいました教会の先生、信徒の皆さん、そして献身者をお送りくださった諸教会の先生方に、心よりお礼申し上げます。

牧師先生方のために

2015年度 冬期研究科の御案内

講座1 『女性の牧会』

期 日：2016年1月19日（火）～22日（金）
場 所：本校
講 師：野川悦子
港南シオンキリスト教会 牧師
・中央聖書神学校
・ルーサーライスセミナー（D.Min.）

科目内容

本科目は、キリストの12弟子、聖書記者、解釈者のほとんどが男性である中で、女性の視点から聖書を見、解釈を試みる神学についての歴史的な流れを知り、正しい聖書的な解釈は何かを学ぶと共に、女性教職における聖書解釈と説教の可能性を考える。また教会で魂と関わり実際に男女を牧会している女性教職、あるいは信徒リーダーの問題と解決の可能性や、男性を含めた教職が女性の信徒、求道者を伝道牧会する中でみられる女性特有の問題などに目を向ける。女性学、男性学も学びながら見識を深め、講義だけでなくディスカッションしながら実践に役立たせる。女性だけでなく男性にも受講して戴きたい授業を予定している。

講座2 『聖霊の賜物』

期 日：2016年2月2日（火）～5日（金）
場 所：本校
講 師：Kim Dongsoo キム ドンスPh.D.
韓国 ピョンテク大学 新約学教授
・英国 ケンブリッジ大学（Ph.D.）
・米国 ハーバード大学（Th.M.）
通 訳：姜一成
西宮アガペー教会牧師
・韓国 長老会神学大学
・日本 神戸改革派神学校

科目内容

このコースは異言や預言を含む第1コリント12-14章にある聖霊の賜物の性質と実践を学ぶコースである。主要な方法は釈義と神学である。ギリシャ語の知識があることが望まれるが必須ではない。



※受講・聴講希望の先生は、神学校事務局までご連絡下さい。

神の召しを受けた方へ

2016年度 学生募集

- 本科願書締め切り … 2016年2月 2日（水）
- 本科入学試験 … 2016年2月16日（火）
- 通信科願書締め切り … 2016年2月23日（火）
- 通信科入学試験 … 2016年3月 5日（土）



日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20

Tel 03-3918-4925

http://www.cbc-j.ac.jp/

Fax 03-3918-4064

cbc@ag-j.or.jp



スクーリングを終えて

日頃、各自でそれぞれの働きの中で学びを進めている学生が一堂に会し共に学べる時が与えられることは、通信科生にとって何よりの励ましであり、幸いな時となりました。普段、モニターを通して学ぶことも、直接先生から講義を頂けることで、更に学びにも熱がこもりました。先生のお証など、普段交わることもない先生と直接お話できるのも通信科生としては、大きな恵みです。3日間の間に、他教会の研修として、「日本同盟基督教団 西大寺キリスト教会」に伺い実際の働きを見させて頂くこともできました。

授業以外では初日の夜は学生同士での分かち合いや祈りの時が与えられ、一層横の繋がりを深めることができました。

通信科2012年度生
牧 唯恵
7月27日(月)〜29日(水)、岡山県(リバーサイドチャーチ岡山教会)にて通信科のスクーリングが行われました。3日間、集中的に和田佳士師による教会形成論を学びました。全国各地から通信科生10名が集まりました。

2日目の夜はリバーサイドチャーチ岡山教会との合同祈禱会を行い、通信科生が賛美をリードし、和田先生がメッセージをされて、とても素晴らしい恵みと交わりの時が与えられました。また、毎朝のチャペルなど生活を共にする時間も私たちにとって貴重な時間だったと思います。

冬のスクーリング以外にこのような機会が与えられたことで献身の思いが更に燃やされ、一体感もより一層深められました。私達、通信科生の事をいつも配慮して下さい、多くの機会を与えて下さっていることを心から感謝申し上げます。

多くの方々の祈りによって支えられている私達が、今後よく学び、整えられていくことができるように皆様の日々のお祈りに加えて頂ければ幸いです。

駒込での

ろう者聖書学校・集中講義

ろう者聖書学校主任 郡 美矢
ろう者聖書学校は、全国のろう者伝道をしている教会を会場にし、毎回違う教会で授業を行ってきましたが、今回はじめて駒込の中央聖書神学校校舎が会場となりました。期間は、11月21日(金)〜23日(月)の3日間、「聖霊論」の授業が行われました。講師の武藤信夫先生(聖書めぐみキリスト教会牧師)は聴者ですが、ご両親がろう者なので、手話が堪能です。参加者全員(神学生4人、聴講生8人)が、こんなに分かりやすい手話表現による聖書講義は受けたことがないと感動し、大好評でした。3日間、笑いあり、感動あり、涙あり。ろう者神学生たちは最後まで熱意があり、聖霊なる神様について深く学び、恵まれた授業となりました。

ろう者神学生たちも本校神学生と同じ寮に泊まり、朝のラジオ体操、掃除奉仕などにも参加し、貴

重な体験となりました。屋敷や夕食は、神学校の食堂と一緒に交流しながら食べ、本校神学生たちもたどたどしい手話で一生懸命コミュニケーションをとろうと努力し、大いに盛り上がりました。食後は本校神学生たちが手話賛美を披露してくれました。

最終日の授業開始前には、校長の北野先生が中央聖書神学校の歴史や校歌の紹介をして下さり、ろう者聖書学校の生徒たちを激励して下さいました。教団総会直後であったにもかかわらず、本校の先生方と生徒たちがいるとご配慮下さり、また歓迎して下さいました。3日間となりました。心より感謝申し上げます。

これから、主が、駒込の本校と同様に、ろう者聖書学校をも祝福し、導いて下さるようお願い下さい。

CBCフェスタ2015での恵み

主の御名を賛美いたします。CBCフェスタ2015に参加し、信徒聖書学校を体験することができた恵みに感謝いたします。教会、家庭、会社といった日常の枠から離れた神学校の敷居の向こう側にある教室は何とも言えない新鮮さを感じました。自分の信仰生活の「今」を見つめられる場所となりました。神学生の方々が日々の生活し、訓練を受けているチャペルで共にささげる聖会は、そこでしか得られない聖霊の満ちた体験でもありました。

信徒聖書学校では、「クリスチャンの献身とは(藤井敬朗先生)」の授業を受けました。献身とは、神のために生涯をさげること、牧師になることを想像しますが、牧師と信徒とは賜物の違いであり、全てのクリスチャンに与えられた賜物をキリストの体を建てあげるために献上げていくことが献身であることを知らされました。時には自分の思い(我力)が優先して自分の体を建て上げてしま

川口神召キリスト教会

宋寅虎

うような過ちにも気付かされました。神学生の方々が神からの召しと賜物への応答として入学の思いを決心し、一步を踏み出したように、信徒もキリストの体を建てあげるため自分の賜物をささげることを決心し、行動することの大切さを知られました。「何をお手伝いしましょうか?」から「主よ、私の賜物は何ですか?」「私の賜物をささげ、チャレンジします」と祈りが変えられました。そのため聖霊の満ちしと助けを求めていきたいと願っています。

CBCフェスタ2015



全国聖会に参加して

通信科2014年度生 佐藤ひろ子
ハレルヤ。感謝と感動の第40回全国聖会。教団にとっての記念すべき日が、私の人生にとっても思い出に深く刻まれる日になりました。60歳で神学生をしているだけでも、恵み一杯の日々で感動が絶えないのですが、今回の聖会では本科生と一緒に全日程の奉仕者メンバーに加えて頂き、より一層の感動でした。そして、直接会場にいられた通信科生の皆さんにお会いすると、喜びは倍増でした。

分刻みのスケジュールに、緊張した表情でテキパキと動く本科生たちの中で、私は会場準備から始まり、子ども聖会の受付の奉仕をさせて頂きました。二日目は、東日本大震災への支援で大活躍している東松島アメージング支援センターでの奉仕に加えて頂きました。信科の同期、横山あか

り神学生の活動拠点です。彼女が、生き生きとした笑顔で「ここが私の活動の場です。」と、声を掛けてくれました。(感動!!! 私、頑張るぞ!!!) 盛り沢山のスケジュールの中で、一番教えられた事は、神の家族が集まることの喜びと祝福です。

ヘブル10章25節「ある人々のように、一緒に集まることをやめたりしないで、かえって励まし合っているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」

主は、駒込・仙台の往復の時間にも祝福を絶やさず、バスは連休というのに交通渋滞に会うこともなく、神様の愛に、包まれ守られ奉仕ができました。感謝致します。

主に栄光がありますように。